令和６年度　長崎県中学校剣道競技新人大会実施要項

１　主　　催　　長崎県中学校体育連盟　長崎県教育委員会　（一財）長崎県剣道連盟

２　主　　管　　長崎市中学校体育連盟　長崎市教育委員会　長崎市剣道協会　長崎県学校剣道連盟

３　日　　時　　令和６年１２月８日（日）

開　　館　　８：３０
練習時間　　８：３５～９：１５
受　　付　　８：３０～９：００
竹刀検量　　８：３０～９：４０
審判会議　　９：２０～
監督会議　　９：３５～
開 始 式　　９：４５～
競技開始　１０：００　　試合順　（１）個人戦　（２）団体戦
※すべての競技が終了後、表彰式を行う。

４　会　　場　　長崎県立総合体育館

５　参加資格

（１）参加者は、各郡市町中体連加盟の学校に在学し、学校教育法に基づく当該中学校生徒であること。

（２）各郡市町中体連主催予選大会及び長崎県剣道連盟主催予選大会において選抜された単一校（単一団体）のチーム及び個人であり、当該中学校長または地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）においては長崎県剣道連盟会長と長崎県中学校体育連盟会長が認めた１・２年生の生徒であること。

（３）中学校における引率・監督は、当該校の校長・教員・部活動指導員とする。地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）においては責任ある代表者・指導者とする。

（４）中学校においては、外部指導者をおくことができる。外部指導者は、当該校の校長が認めた者とする。ただし、当該校以外の中学校教職員は、外部指導者にはなれない。また、同一人物が複数校の外部指導者にはなれない。

（５）長崎県中学校体育連盟が主催する大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。また、地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）のチーム・選手の指導者等は、各中央競技団体の倫理規定等に基づいて、長崎県剣道連盟から処分を受けていない者であることとしている。校長及び代表者はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、中学校における外部指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

（６）地域クラブ活動の参加資格についての詳細は、「長崎県中学校総合体育大会開催基準」及び「令和６年度長崎県中学校総合体育大会地域クラブ活動の参加資格の特例各競技細則」による。（長崎県中学校体育連盟ホームページ参照）

６　参加制限

（１）本大会の出場枠を下記のように定める。

【個人戦】長崎県中学校総合体育大会参加制限を適用する。
【団体戦】各郡市町新人大会参加チーム数（申込時）によって出場枠を決定する。

〈男子〉		〈女子〉	
１　～　４校	１枠	１　～　３校	１枠
５　～　８校	２枠	４　～　６校	２枠
９～１２校	３枠	７　～　９校	３枠
１３校以上	４枠	１０校以上	４枠

（２）チーム編成は監督１名、外部指導者（コーチ）１名、選手５名、補員２名の合計９名以内とする。ただし、選手編成が不可能な場合は、下記のとおりとする。

①　４名編成の場合は、次鋒をあける。（不戦負け）
②　３名編成の場合は、次鋒と副将をあける。（不戦負け）

7　競技方法

（１）団体戦は参加チーム数に応じて、下記の通りに試合を行う。

【参加チーム数が１４チーム以上の場合】

ア）参加チームを２～４チームでＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ・Ｆの６パートに分けて予選リーグを行い、Ａ・Ｂ・Ｃパートの各１位チーム、Ｄ・Ｅ・Ｆパートの各１位チームによる準決勝リーグを行う。準決勝リーグの１位チームどうしによって決勝を行う。

イ）予選リーグ・準決勝リーグについては、試合は３本勝負、時間は３分、延長なし。勝敗が決しないときは引き分けとする。リーグ内の順位の決め方は、チームが勝ちの場合は２点、引き分けの場合は０．５点、負けの場合は０点とし、得点・チーム勝数・勝者数・得本数の順で決める。なお、同数の場合は、最終試合者の中から任意の代表者による決定戦を下記ウ）の要領で行う。

ウ）３チーム同数の場合は、試合は３本勝負、時間は３分、延長は勝敗が決するまで行う。任意の代表者は試合ごとの変更を認める。試合順はリーグ戦と同じとする。２チーム同数の場合、試合は１本勝負、時間は３分、延長は勝敗が決するまで行う。

エ）５・６位決定戦は原則として行わないが、ベスト４以上に同じ地区から複数チーム入賞し、かつ、次年度の県中総体の参加枠以上の入賞があった場合は決定戦を行う。

オ）決勝は３本勝負、時間は３分、延長なし。勝敗が決しないときは引き分けとする。両チームの成績が勝者数・得本数ともに同数の場合は、最終試合者の中から任意の代表者による決定戦を行う。試合は１本勝負、時間は３分、延長は勝敗が決するまで行う。

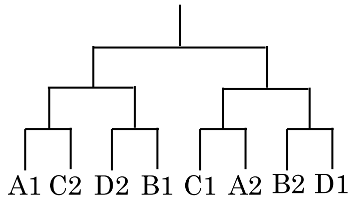
【参加チーム数が１３チーム以下の場合】

カ）参加チームを３～４チームでＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄの４パートに分けて予選リーグを行い、右表の通り各パート上位２チームによる決勝トーナメントを行う。

キ）予選リーグは、上記イ）とウ）に準じて行う。

ク）決勝トーナメントは、上記オ）に準じて行う。

【決勝トーナメント組合せ】



（２）個人戦はトーナメントとし、試合は３本勝負、時間は３分、延長は勝敗が決するまで行う。シード順位決定戦は行わず、ベスト４の２名のうち優勝した選手と準決勝で対戦した選手が所属する地区を第３シードとし、もう一方を第４シードとする。

（３）オーダー確認用紙提出後のオーダーの変更は認めない。補欠選手との交代は本部へ申し出ること。

（４）個人戦・団体戦において試合が連続する場合は、３分間の休憩を入れる。個人戦は面を外して３分経過後に面をつける。団体戦は前試合の相互の礼から３分経過後に面をつける。

8　競技規則

全日本剣道連盟試合規則・審判細則、剣道試合・審判運営要領及び本大会の申し合わせ事項により行う。また、全日本剣道連盟が示す感染症予防ガイドライン（令和６年９月１日施行開始）、剣道試合・審判・運営要領の手引き（改訂版：令和６年９月１日から実施）の通り行う。

9　申し合わせ事項

（１）足袋・サポーター・テーピング・コルセットの使用については、各試合場の審判主任に監督またはコーチと選手で申し出て許可を得る。サポーター等で底にゴムや革、滑り止めを貼った物の使用は禁止する。

（２）面金を黒塗りにするなど、通常の配色でない面の使用を禁止する。

（３）面乳革は大きさ、模様を含めて華美にならないように配慮し、黒色または紺色とする。

（４）面紐の長さは、結び目より４０ｃｍ以下とする。長い場合は試合の前後で切らせる。面紐の結び目の位置が高く、危険が予測される場合はつけ直させる。

（５）竹刀検量については、全剣連剣道試合・審判運営要領「ちくとうの最小直径値の計測方法」による。竹刀の重量（男子４４０ｇ以上、女子４００ｇ以上）及び長さ（１１４ｃｍ以下）の測定を実施する。柄革は模様のない無地の物で、滑り止め（ゴム等）がついた物の使用を禁止する。また、弦の色については、白・黄色が好ましいが、華美にならないよう配慮する。

（６）不正竹刀（ビニールやテープを巻いた物・異物を混入した物・検印のない物）を使用した場合は、試合規則第１９条１・２・３を適用する。ただし、予選リーグにおいては補員の起用は認めない。

予選リーグ後の試合においては補員の起用を認める。

（7）両面に模様が入ったつばの使用は禁止とし、相手に向く側のつばの色は革色・白色とする。それ以外の物を使用している場合は、その場で取り替えさせる。

（8）剣道着・袴・剣道具には試合上判定に支障をきたす（華美なものを含む）刺繍・紋章等をつけない。

（9）「変型な構え等の防御態勢（三所隠し）」をとった場合は、１回目は「合議」の上「指導」、２回目以降は「合議」の上「反則」とする。（公正を害する行為）

(10) 突き技は禁止とし、反則とすることもある。

(11) 団体戦では原則として監督は選手席入りすることが望ましいが、試合進行の関係上、監督が選手席入りできない場合はコーチのみの選手席入りも可とし、異議申し立ても認める。個人戦での選手席入りは、監督・コーチ・個人戦出場選手のみとする。

(12) 疑義のある場合は、当該者の試合終了までに監督がその試合場の審判主任に異議を申し出ることができる。（審判主任の説明を、コーチも一緒に聞くことができる。）なお、コーチによる異議申し立てはできないが、同校（チーム）生徒の試合が２試合以上で同時に行われ、監督不在になった場合に限り認める。

(13) 選手席への時計の持ち込み（監督・コーチの腕時計やビデオ・タブレット等を含む）、及び監督・コーチからのサインなどによる指示等は禁止する。また、応援は拍手のみとする。

(14) 延長戦は２分ずつ区切って行う。

・試合開始３分⇒延長２分⇒延長２分⇒【小休止（深呼吸をする程度）】
⇒延長２分⇒延長２分⇒【休憩（面を外して給水）】
※上記を繰り返す。

【小休止】⇒開始線の位置で１０秒程度の深呼吸。

【休　憩】⇒立ったまま納刀し、待機場所に戻って面を外し、所定の場所で水分補給を行う。試合再開までの時間は３分とする。

＜審判員の所作＞

【小休止】審判員は試合者に「その場で深呼吸しましょう」と促す。

【休　憩】左手に審判旗を持ち、右手を右斜め下方に伸ばし、手の平を下に向け「休憩」と宣告する。

(15) マスクの着用について

【選手】　・面をつけている時…面マスクまたはシールドを着用する。
　　　　　・面をつけていない時…個人の判断とする。

【審判員】・マスクは着用しない。ただし控え席でのマスク着用は個人の判断とする。

10　組み合わせ

主管地及び長崎県中学校体育連盟剣道競技専門委員で厳正に抽選する。なお、団体戦・個人戦とも令和６年度長崎県中学校総合体育大会剣道競技における団体戦入賞チーム・個人戦入賞者の地区には規定に則してシード権を与える。

11　表　　彰

（１）団体戦優勝チームに優勝旗と賞状を、準優勝チームと第３位チーム（２チーム）に賞状を授与する。

（２）個人戦優勝者、第２位、第３位（２名）の入賞者に賞状を授与する。

12　申込方法

（１）大会参加申込書に必要事項を記入し、学校長（クラブチームは責任者）の押印を受け、下記申込先に令和６年１１月２０日（水）必着で郵送する（FAX不可）。コーチ申請については、必要事項を記入し、写真を貼付したコーチ申請書を参加申込書と同時に提出する。

（２）申込書を作成したエクセルデータを下記メールアドレスに送信する。期日は、令和６年１１月２０日（水）までとする。

送信先メールアドレス：
shimoda.sou@gmail.com
長崎県中体連剣道競技専門委員長
南島原市立深江中学校　下田桑太郎

13　参 加 料

大会参加料（１チーム５，０００円、個人１名５００円）を選手申込と同時に下記振込先に学校名（例：フカエチュウ）で納入する。なお、団体戦に出場した選手が個人戦に出場する場合でも、個人戦参加料は納入する。（振込手数料については、各校が負担すること。）

参加料例：団体戦男女とも参加（５，０００円×２チーム分で１０，０００円）で、個人戦４名参加（５００円×４名分で２，０００円）の場合、合計１２，０００円となる。

【申込先】	〒８５９－１５０４ 南島原市深江町丁３１７９番地 南島原市立深江中学校　　下田　桑太郎　　宛 ＴＥＬ　０９５７－７３－６７１０
【振込先】	十八親和銀行　有明支店　普通１０１９０３５　ケンドウセンモンブ

14　そ の 他

（１）本大会の団体戦入賞チーム・個人戦入賞者の地区には、令和７年度長崎県中学校総合体育大会剣道競技のシード権を与える。ただし、地区が持つ参加枠によっては５位チームにシード権が与えられる場合がある。第３シード、第４シードの決定方法については、下記（２）の順位決定方法に準じる。

（２）団体戦男女上位６チームは、２月に熊本県で開催予定の白龍旗争奪中学生選抜剣道大会（九州中学校選抜新人剣道大会）の出場権を得る。第３位～第６位の順位決定方法は下記の通りとする。

【参加チーム数が１４チーム以上の場合】

優勝チームが入っていた準決勝リーグの２位チームを第３位、３位チームを第５位とする。また、準優勝チームが入っていた準決勝リーグの２位チームを第４位、３位チームを第６位とする。

【参加チーム数が１３チーム以下の場合】

優勝チームに準決勝で対戦したチームを第３位とし、準優勝チームに準決勝で対戦したチームを第４位とする。また、決勝トーナメントにおいて、〈A1,C2,D2,B1〉と〈C1,A2,B2,D1〉のそれぞれの山で１回戦に敗退した２チームどうし対戦し、勝者チームのうち優勝チームが入っていた山のチームを第５位、もう一方を第６位とする。

（３）団体戦男女上位４チームは、３月に佐賀県で開催予定の神埼市長旗全国選抜中学生剣道大会の出場権を得る。

（４）場内での横断幕・部旗の掲示は禁止する。また、選手席への千羽鶴や竹刀袋への不必要な飾りの持ち込みを禁止する。

（５）フロアには監督・コーチ・選手・役員のみ入場できる。ただし、受付・竹刀検量時には保護者や選手以外の生徒の入場を認める。

（６）団体戦参加校はオーダー用紙を下記の要領（模造紙１／４程度の大きさ、左側から学校名、先鋒、次鋒、中堅、副将、大将の順で記入）で作成し、当日、受付時に提出する。

当日受付時に　〈オーダー確認用紙〉　を２部提出してください。

※登録選手７名の中からオーダーを決めて提出してください。

○ ○ 中						縦：約27cm

横：約79cm